

科目名					授業の種類	授業担当者
実習デザインⅠ					演習	宮原千秋
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
1	1	30	15	後期	幼免：選択	保育士：選択
〔授業の目的・ねらい〕 1. 幼稚園実習の意義・目的を理解する。 2. 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。						
〔授業全体の内容と概要〕 1. 幼稚園実習の意義 (1)実習の目的 (2)実習の概要 2. 実習の内容と課題の明確化 (1)実習の内容 (2)実習の課題 3. 実習に際しての留意事項 (1)プライバシーの保護と守秘義務 (2)実習生としての心構え 4. 実習の計画と記録 (1)実習における計画と実践 (2)実習における観察、記録及び評価 5. 事後指導における実習の総括と課題の明確化 (1)実習の総括と自己評価 (2)課題の明確化						
〔受講上の注意事項〕 意欲的に取り組むこと 提出物の期限を守ること						
〔使用テキスト〕 ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領＜原本＞(チャイルド本社) ・幼稚園教育要領解説(文部科学省) ・保育者になる人のための実習ガイドブック(萌文書林)				〔評価基準〕 ・受講態度(出席状況含む)・幼稚園実習関連提出物		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕						
回	項 目		授 業 内 容			
1	オリエンテーション		実習の意義と目的			
2	実習の内容と留意事項		事前打ち合わせについてや実習への心構えについて			
3	教育実習事前準備Ⅰ		実習の指導計画作成と事前準備			
4	教育実習事前準備Ⅱ		実習の指導計画作成と事前準備			
5	実習のまとめ		実習報告書作成と報告会の準備			
6	実習報告会		実習を具体的に振り返り課題を明確化する			
7	領域研究Ⅰ		領域「健康」について			
8	領域研究Ⅱ		領域「人間関係」について			
9	領域研究Ⅲ		領域「環境」について			
10	領域研究Ⅳ		領域「言葉」について			
11	領域研究Ⅴ		領域「表現」について			
12	教材の研究と指導計画Ⅰ		小麦粉粘土の性質を知り素材研究をする。保育にどのように活かすか指導計画を立て実践する。			
13	教材の研究と指導計画Ⅱ		身の回りにあるものの素材研究する。保育にどのように活かすのか指導計画を立て実践する。			
14	教材研究と指導計画の振り返り		それぞれの研究の振り返りとまとめ			
15	まとめ		実習の総括と自己評価			
実務教員としての経歴		幼稚園教諭として幼稚園に勤務8年（うち認定こども園で主幹保育教諭として1年）				
実務経験と授業の関連		幼稚園教諭としての経験を活かし、保育者を目指す学生たちの実習に必要な知識と技術を養う。				